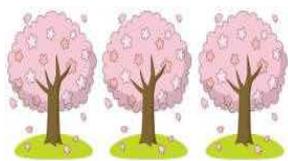


高取小だより

令和7年3月7日



三本桜

第37号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
3月の目標： 学校生活のふりかえりをしよう

やる気が大事

早いもので、令和6年度も残すところ3週間ほどとなりました。6年生は3月19日に卒業式を迎え、4月には中学校へ入学し新たな生活が始まります。目まぐるしく環境が変わるこの時期、期待と不安が入り交じった気持ちになると思いますが、早く新しい環境に慣れ充実した中学校生活を送ってくれることを願っています。

- ・ある日、少し元気がない様子の子がいました。しかし、体を動かすゲームが始まると満面の笑顔で全力で校庭を走り回っていました。
- ・とても寒い冬の日、鬼ごっこをしている子供たちがいました。全力で追いかけ、全力で逃げていました。寒いことは全く気にしません。

遊びの中での一場面ですが、子どもが楽しい、自分からやりたいと思ったときの全力で取り組む姿にもものすごいパワーを感じる時があります。「パワー」＝「集中力」でもあります。余計なことを考えず、目の前の楽しいことややりたいことだけに集中し、思いっきり楽しむ（取り組む）のは子どものすごいところ、特徴なのかもしれません。大人だったら、寒い日は外に出ることをためらうでしょう。「好きこそものの上手なれ」のことわざのとおり、好きでやっていることは一生懸命になりますし、それに関して勉強したり工夫したりするので、自然に上達するものです。

学校生活の中で、子どもたちが楽しい、自らやりたいと思う気持ちを大切にして指導することの大切さを改めて感じました。



20分休み時間①（2月28日）



20分休み時間②（2月28日）

学校は、多くの方々に支えられています

高取小学校は本年度も多くの方々にご支援をいただきました。PTAやまちづくり協議会、子ども会、鷹取の会、鷹灯里の会等の活動をとおして、子どもたちのために多くの皆様にお力を注いでいただきました。登下校時の見守り、こども110番の家の更新、ゲストティーチャー、学習支援、読み聞かせ、子どもたちが参加する行事の運営管理等、本当に数えきれません。また、学校関係者評価委員会では委員の皆様にも、学校の基本方針の承認や、学校運営についてたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

今後も、学校、保護者、地域がより緊密な関係を築いていけるよう、学校として何ができるかを考え、取り組んで参ります。今後も保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

年年歳歳花相似 歳歳年年人不同

中国の唐時代の詩人・劉希夷の詩『代悲白頭翁（白頭を悲しむ翁に代わって）』に有名な一節があります。

年年歳歳花相似（ねんねんさいさいはなあいにとり）

歳歳年年人不同（さいさいねんねんひとおなじからず）

「草木は毎年変わらず美しい花を咲かせているが、人は歳をとるごとに変わってしまう。いつまでも昔のままではいられない」という意味で、自然の悠久さと人の世の無常さを対比させていると言われます。

稗田川沿いの三本桜はこれまでと同じように綺麗に今年も咲くことでしょう。しかし、それを見る高取っ子は去年とは違います。卒業していなかったり、入学してきて加わったりしています。そして、今年も花を見るだろう子どもたちも、それぞれ1年前よりしっかりと成長しているはずです。「見る人」は顔ぶれも中身も「同じからず」なのです。桜は同じように咲くからいい。人は同じでないからいい、私はそう思います。

今月19日には 84人の6年生が「卒業生」となります。卒業生の皆さんと保護者の皆様に心からお祝い申し上げるとともに、子どもたちへの指導・支援に関わってくださった多くの方々へ厚くお礼申し上げます。また、5年生以下在校生も1年間の総まとめに取り組んでおります。卒業や進級への大切な残り2週間、ご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



三本桜（令和6年4月撮影）